

1級DCプランナー(企業年金総合プランナー)資格更新研修会

受講レポート(2018年11月10日)

登録番号

氏名

※本日の研修会における3つの講義について、講義のポイントならびに受講した感想を以下に簡潔にご記入ください。記入内容によっては、資格を更新できない場合がありますのでご注意ください。

◆講義Ⅰ：企業年金等の現状と課題

《講義のポイント》

まず、高齢者の定義を65歳以上とする事から再考する必要がある。今後、公的年金が目減りしていく事は明らかで、為  
公私を一体で促され、高齢者の就業持続と私的年金の  
補充に力。国民自身、又は企業の努力に力。年金制度も  
力充実、維持していく事が必要である。

《受講した感想》

医療介護にも携わられたご経験から  
幅広い知見の話を聞く事ができた。また、一加入予定者として  
専門用語を使わず、分かりやすく説明すべきだというご意見には  
深く同意できた。DC制度については、掛金額も含めて  
もっとシンプルに統一して頂きたい。

## ◆講義Ⅱ：企業年金制度統合に伴う課題と対応

### 《講義のポイント》

複数の企業の企業年金制度の統一。各社独自制度を統合するための過程、課題、手続きにおける詳細な説明と対応をお話いただいた。DCとDBでは、移行方法や手続き、厚生局の対応も異なる。若年層、受給者への配慮が必要である。

### 《受講した感想》

複数の企業の制度統合に本当に大変ではな推であることが伝わってきた。運営に所属していた立場としては厚生局によつて、又厚生局の<sup>担</sup>担当者に対する対応が異なる点は苦慮したので統一して頂きたいと希望する。

## ◆講義Ⅲ：公的年金の現状と課題

### 《講義のポイント》

世間で誤解されている公的年金制度は実は解決に着手済である。受給開始年齢を遅らせ、65歳以降も就労を継続することで、自身及び後世の年金額を増やす事が可能である。年金額は賃金に比例するため、企業は賃金を上げる努力が必要である。

### 《受講した感想》

難しい内容を非常に簡潔かつわかりやすく説明頂いた。名目と実質は違う事、公的年金の場合には実賃金の実質化で見直す事を改めて確認できたので、今後、資料を読む際には注意したいと思う。高齢者の数が今後それ程増えたい事が知れて良かった。

～ご記入のうえ、受付にご提出ください～